

日本鳥学会 2005 年度大会

サテライトミーティング 車座集會“THE 猛禽” プログラム概要

日時：2005年9月19日(夜)から21日(昼)まで

会場：夢の森(松本市奈川地区) TEL 0263-79-2304

宿泊：リフレイン奈川(松本市奈川地区) TEL 0263-79-2336

月日	座長	タイトル	講演者	所属	時間	
9/19	植松晃岳	タカ類の識別講座	久野公啓	信州タカ渡り研	19:30 20:30	
9/20 午前	中村浩志	はじめに	山岸哲	山階鳥類研究所	9:00	
		国立猛禽類研究所の必要性	阿部學	ラプタージャパン		
		セッション1: 最近の猛禽研究の動向				
	植松永至	セッション1a: 猛禽類の分布と個体数の動向				
		低山における猛禽類の個体数推移の推定	川上和人	森林総研・多摩森林科学園		
		長野県内におけるハヤブサ類の分布の変化	堀田昌伸	長野県環境保全研		
		関東地方の都市緑地のツミの繁殖個体数の変遷	植田睦之	バードリサーチ		
		北海道におけるオジロワシ繁殖個体群の動向	白木彩子	北大・院・地球環境科学		
		イヌワシの分布と個体数変化	柳川雅文	日本イヌワシ研究会		
		20年間におけるクマタカの繁殖成功率の低下とその原因について	飯田知彦	九大・院(広島クマタカ生態研究会)		
	堀田昌伸	セッション1b: 猛禽類の環境利用様式				
		オオタカの繁殖期の行動圏と環境選択	遠藤孝一	オオタカ保護基金		
		谷津田環境で繁殖するサシバ(<i>Butastur indicus</i>)の資源利用と資源分布の関係	酒井すみれ	東大・農・生物多様性		
		先島諸島におけるサシバの分布決定にかかわる景観要素	吳盈瑩	東大・農・生物多様性		
	ハチクマの行動様式	植松永至	信州タカ渡り研	12:00		
9/20 午後		セッション2: 猛禽類の保護・保全について				
	植松永至	セッション2a: 海外での取り組み				
		ジャワクマタカの研究と保護	Dewi M. Prawiradilaga	Res. Centre for Biology-LIPI	13:00	
		フィリピンイーグルにおける保護の現状	Dennis Joseph I. Salvador	The Philippine Eagle Foundation		
		アジアにおける渡り調査の取り組み	新谷保徳	アジア猛禽類ネットワーク		
	植松晃岳	セッション2b: 風力発電とバードストライク				
		風力発電とバードストライク	古南幸弘	日本野鳥の会 自然保護室		
		北海道における風発と鳥類保全	白木彩子	北大・院・地球環境科学		
		西南日本における風力発電と猛禽類との共存問題-主にクマタカと渡りの猛禽類に関して-	飯田知彦	九大・院(広島クマタカ生態研究会)		
	堀田昌伸	セッション2c: 最近の研究や技術の保護・保全対策への応用				
		GISやRSの活用	百瀬浩	中央農研・鳥害研究室		
		DNA解析の応用	浅井芝樹	山階鳥類研究所		
	植松晃岳	セッション2d: 保護・保全に関わる取り組みと課題				
		猛禽類保護への取り組み	市田則孝	バードライフ・アジア		
	オオタカへの配慮	勝亦修	飯田国道管内猛禽類保全対策委員会事務局			
	徳山ダムにおける猛禽類の保全対策について	村尾浩太	徳山ダム建設所			
	オオタカのエサ環境を代償する法面への樹木緑化	青島正和	大成建設(株)			
	イヌワシデータの管理と活用について	堀田昌伸	長野県環境保全研	17:00		
9/21 午前	植松晃岳	セッション3: 渡り研究の現在と展望				
		国内における渡り調査ネットワーク	熊崎詔之	日本野鳥の会 岐阜支部	9:00	
		白樺峠におけるタカ渡りカウント調査 1991-2004	植松永至	信州タカ渡り研		
		衛星追跡による渡りルートの解明	樋口広芳	東大・農・生物多様性		
	樋口広芳	セッション4: 総合討論: 日本の猛禽類研究のこれから				
		猛禽類調査における倫理について	飯田知彦	九大・院(広島クマタカ生態研究会)		
中村浩志	おわりに				12:00	